



H I V / エイズについて

～正しく知って差別や偏見をなくしましょう～

治療の進歩により、H I V (エイズウイルス) による死亡率は劇的に減少し、H I V 感染症は慢性病の1つとして考えられるようになりました。

大阪市でH I V 感染症の治療のために身体障がい者手帳を取得している人は、毎年増加し、2000人以上います。

高齢化の進行・他の合併症などにより、支援を必要とするH I V 陽性者が増加し、福祉施設や在宅支援への期待が高まっています。まずは、H I V / エイズについて理解を深めましょう。

H I V / エイズ = 死ではありません。

かつては『死に至る病』としておそれられてきたH I V / エイズ。H I V 治療薬により、感染していない人と同様に長く健康的に生活できるようになりました。

治療方法が進歩して1日1回1錠の薬もあり、今までと同じような社会生活を送ることができます。

そんなに簡単にうつりません。

こんなことでは感染しません！



効果的な治療を続けていれば
HIVは感染しない。



陽性≠感染、
知れば変わる未来と予防。

U = Uとは？

H I V 治療を検査で検出されないほどウイルス量が減少し (Undetectable) その状態を治療により維持している人からは感染しません (Untransmittable)

特別な配慮は要りません。

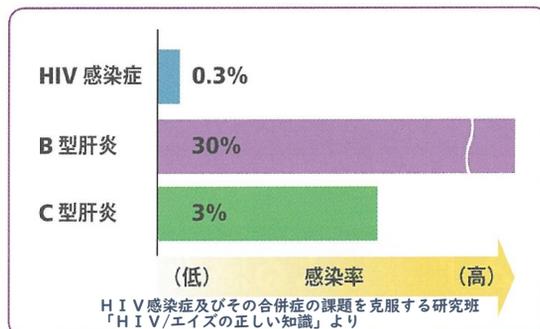
HIVは非常に感染力の弱いウイルスです。B型・C型肝炎ウイルスに比べて感染率はかなり低く、日常生活で感染することは、まずありません。

感染予防対策は、標準予防策(スタンダードプリコーション)で十分です。

標準予防策 (スタンダードプリコーション)

血液やその他の体液などは
誰のものであっても何らかの
感染性があると仮定し、全員
に分け隔てなく対応する。

針刺し事故の場合の感染率



まずはHIV・エイズについて、知識をアップデートしませんか？

「HIV感染症・エイズの理解を深めましょう」

○福祉関係者向けオンデマンド講座

<https://www.youtube.com/watch?v=8w8rFBJmMLw>

(大阪市健康局Youtubeチャンネル・限定公開)

※受講後はアンケートにご回答ください(行政オンラインシステム)



○社会福祉施設・事業所等への出張講座

日時・場所・内容は、ご相談に応じます。

リモート講座も実施しています。まずはお電話ください。

お問い合わせ・HIV/エイズに関するご相談は…

大阪市保健所感染症対策課感染症グループ 電話 06-6647-0656



本市ホームページ内



X (旧Twitter)

大阪市保健所HIV・性感染症情報ナビ



Instagram

osakacity_hiv_sti

